

# 地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	「平成30年度 木曽三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」 出展
実施目的	木曽三川における洪水被害、名古屋港における高潮被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による、防災体制の確立を図ることを目的としています。当研究所は、この水防演習に出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成30年5月27日（日） 9:00～12:00
会 場	長良川右岸 鶴飼い大橋下流河川敷（岐阜県岐阜市長良雄総地先）
主 催	国土交通省中部地方整備局、岐阜県、愛知県、三重県、岐阜市、関市、羽島市、瑞穂市、木曽川右岸地帯水防事務組合
協 力	気象庁岐阜地方气象台、中部地方防災エキスパート 他
後 援	（一社）中部地域づくり協会 他
参 加 者	訓練参加者 約 2,000 名（協会展示ブース見学者 約 70 名）
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <p>① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」（製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会）</p> <p>② パネル展示 ・地震：濃尾地震、三河地震、昭和東南海地震など ・風水害：9.12 豪雨、狩野川台風、九州北部豪雨など</p> <p>③ 液状化現象試験装置の実演、ホットトルを使った気圧等の実験</p> <p>④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2017・特集 狩野川台風」</p>
実施効果	室戸台風級規模の台風接近による記録的な豪雨・高潮で内水氾濫や堤防決壊による浸水被害を想定のもと、長良川で水防演習が開催され、洪水情報のプッシュ型配信やドローンによる被災状況調査等が実施されました。当協会展示ブースでは、液状化実験や伊勢湾台風・9.12 豪雨・狩野川台風等のパネル展示を実施しました。体験型の液状化実験には訓練参加者からも関心が寄せられました。

## 実 施 状 況

